



山梨大学 新技術情報クラブ

～ インフォメーション ～ 2016/10/17

【第 28-13 号】

本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ最新情報をお知らせする目的で配信しております。メール配信を希望されない方は、「配信停止」とお書きの上、ご返信ください。

メールマガジン 目次

- 01： 公募情報 (3 件)
- 02： イベント案内 (4 件)
- 03： 大学トピックス (4 件)
- 04： 山梨大学出展のお知らせ (1 件)

01: 公募情報 (3 件)

(1)平成 28 年度補正予算「地域新成長産業創出促進事業費補助金 (地域未来投資の活性化のための基盤強化事業)」の公募について

■公募概要

平成 28 年度補正予算「地域新成長産業創出促進事業費補助金 (地域未来投資の活性化のための基盤強化事業)」に係る補助事業者 (執行団体) を公募します。

■事業内容

公設試等に対する IoT 設備等の導入を支援すること等を通じ、地域企業による IoT 関連技術の活用を促す環境を整え、地域イノベーション創出のための新たな基盤を整備し、もって地域経済の活性化を図るものです。

■対象者

公募要領で定める条件を満たす者

■公募期間

平成 28 年 10 月 11 日（火曜日）～平成 28 年 11 月 9 日（水曜日）

■提出先、お問合せ先

補助事業の主たる実施場所を管轄する経済産業局等

経済産業局等 課室名 電話

北海道経済産業局 産業技術課 011-709-5441

東北経済産業局 産業技術課 022-221-4897

関東経済産業局 産業技術課 048-600-0236

中部経済産業局 産業技術課 052-951-2774

近畿経済産業局 次世代産業課産学官連携推進室 06-6966-6164

中国経済産業局 産業技術連携課 082-224-5680

四国経済産業局 産業技術課 087-811-8518

九州経済産業局 産業技術課 092-482-5462

内閣府沖縄総合事務局経済産業部 地域経済課 098-866-1730

詳細は、次のHPをご覧ください。

<http://www.meti.go.jp/information/publicoffer/kobo/k161011001.html>

(2) (財)三菱 UFJ 技術育成財団

平成 28 年度 研究開発助成金（第 2 回）公募開始

三菱 UFJ 技術育成財団は昭和 58 年の設立以来、技術指向型の中小企業の育成を通じて、我が国産業の発展並びに中小企業の経営高度化に貢献することを目的とした公益財団法人です。

当財団では、毎年、上記目的を達成する事業の一環として、新製品、新技術の研究開発に対する助成事業を行っており、第 2 回公募を 9 月 1 日より 10 月 31 日まで行います。

また、当財団の助成金交付・債務保証を受けた中小企業の更なる成長をご支援するために株式保有事業も行っております。企業の成長に対応して、助成金交付に加え株

主となることにより、従来以上に長期的にご支援してまいります。

【助成金】

■対象企業・プロジェクト

- ・新技術、新製品等の研究開発を行う、設立・創業後もしくは新規事業進出後5年以内の中小企業または個人事業者。
- ・現在の技術水準から見て新規性のある機械、システム、製品等の開発で、原則として、2年以内に事業化が可能なプロジェクト。

■助成金額

助成金として、次のいずれか少ないほうの金額を交付致します。

- ・1プロジェクトにつき3百万円以内。
- ・研究開発対象費用の1/2以下。

■公募期間

9月1日～10月31日

【株式保有】

■対象企業

- ・当財団の助成金交付・債務保証を過去に受けた中小企業
- ・当財団の助成金交付・債務保証を受けた際のプロジェクトによる新製品、新技術の開発及び事業化により成長が見込める者。

■保有額

- ・1社につき5百万円以内。ただし、対象企業の議決権の過半数を超えない金額

■公募期間

- ・随時受け付けます

ご参考 URL <http://www.mutech.or.jp/>

(3)平成28年度「中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業」

(平成28年度第2次補正予算)に係る公募について(予告)

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下「NEDO」という。）は、「中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業」に係る実用化開発テーマを下記のとおり広く公募し、助成する予定です。本公募は、平成 28 年度 2 次補正予算成立後、速やかに事業を開始出来るようにするため、補正予算成立前に募集の手続きを行うものです。

予算の平成 28 年度 2 次補正成立が前提であり、今後、内容等が変更になることもありますのであらかじめご了承ください。

■事業内容

本事業では、中小企業等が橋渡し研究機関から技術シーズの移転を受けてビジネスにつなげることや、中小企業等が保有する技術を橋渡し研究機関の能力を活用して迅速かつ着実に実用化することを通じて、中小企業等が技術力向上や生産方法等の革新等を実現することを支援します。加えて、上述のような取組を NEDO が支援することにより、橋渡し研究機関が積極的にその機能強化に取り組むことを促進します。

■応募方法等

公募要領等の詳細は公募開始日に NEDO のホームページに掲載します。

http://www.nedo.go.jp/koubo/CA1_100127.html

公募説明会（10 月中に開催予定）につきましては、詳細固まり次第、本ページ（又は公募開始以降は公募ページ）にてお知らせします。

（土曜日、日曜日、国民の祝日及び年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）を除く）

■応募期間（予定）

(1) 事業を実施する中小企業等の募集

平成 28 年 10 月上旬開始予定

(2) 橋渡し研究機関の申請受付

平成 28 年 10 月上旬開始予定

□ ■

■ 02： イベント案内（4 件）

□ ■

(1)平成 28 年度ものづくり人材育成研修のご案内

富士工業技術センターでは、研修事業として「ものづくり人材育成研修」を実施しています。本県のリーディング産業である機械電子業界における高度技術者の育成支援を目的とし、基礎から応用まで学ぶことができる講座です。

【講座名及び開催日時】

①X 線 CT 装置の測定のコツと活用事例

平成 28 年 10 月 18 日（火） 13:30～16:30

（株）島津製作所 分析計測事業部

NDI ビジネスユニット長（部長） 夏原 正仁 氏

②プラスチック材料の強度試験（最新の規格改正に対応）

平成 28 年 11 月 1 日（火） 13:30～16:30

（株）島津製作所 分析計測事業部 試験機ビジネスユニット

プロダクトマネージャー（課長） 河野 俊幸 氏

③金属材料の疲労破壊のメカニズムと疲労強度設計

平成 28 年 11 月 30 日（水） 13:30～16:30

国立大学法人 横浜国立大学 大学院工学研究院

教授 高橋 宏治 氏

④ものづくりにおける幾何公差

平成 28 年 12 月 15 日（木） 13:30～16:30

CDT 研究所

中村 哲夫 氏

⑤顕微鏡用試料の作製についてー断面観察用試料の作製ー

平成 29 年 2 月 開催予定

ライカマイクロシステムズ（株）

講師調整中

⑥顕微鏡用試料の作製についてー小型イオンビームミリング装置による試料の作製ー

平成 29 年 2 月 開催予定

ライカマイクロシステムズ（株）

講師調整中

☆詳細に関しましては、以下のリンクをご参照下さい。

<http://www.pref.yamanashi.jp/shinchaku/kougyo-fj/2810/documents/curriculum.pdf>

【受講料】

①～⑥ 各 3,000 円

【会場】

山梨県富士工業技術センター（富士吉田市下吉田 6-16-2 TEL 0555-22-2100）

【お申込み方法】

研修の参加申し込みにつきましては、次のリンク先にありますファイルにご記入のうえ、FAX・メールまたは郵送にてお申し込み下さい。

お支払いは、納入通知書を送付いたしますので、指定の金融機関にて納付して下さい。

なお、納付していただいた受講料は原則として返金いたしません。

<http://www.pref.yamanashi.jp/shinchaku/kougyo-fj/2810/documents/moushikomi.pdf>

【締切】

申込締切は原則として開催日の 1 週間前とします。締切日を過ぎてもできる限り対応した

と思いますので、遠慮無くお問合せ下さい。

使用機器の関係で人数を調整させていただく場合がありますので、ご了承下さい。

【問い合わせ先】

山梨県富士工業技術センター 機械電子部 尾形、阿部

TEL : 0555-22-2100 FAX : 0555-23-6671

E-mail : fj-kikai@pref.yamanashi.lg.jp

(2)リバースエンジニアリング講習会のご案内

山梨県工業技術センターでは、リバースエンジニアリング講習会を開催いたします。

近年、既存製品などの形状データを測定し、それをもとに CAD データを作成するリバースエ

ンジニアリングの要望が非常に高くなってきております。

本講習会では、リバースエンジニアリングを行う際の 3D 形状測定の手法や CAD データの

修正

・活用法などについて詳しく解説するとともに、最新の 3D スキャナ装置などについてもご紹介いたします。

○主 催：山梨県工業技術センター

○日 時：平成 28 年 10 月 18 日(火) 午後 1 時 30 分～4 時 30 分(休憩、質疑応答を含む)

○場 所：山梨県工業技術センター

高度技術開発センター2階 共同研究エリア 2、3

○講演題目：「リバースエンジニアリングの現状と最新技術について」

○講 師：丸紅情報システムズ株式会社

製造ソリューション事業本部 赤羽 孝彦 氏

計測製造ソリューション技術部 井上 博史 氏

○参加費：無料

○申込方法：下記リンク先の申込書に必要事項をご記入のうえ、FAX にてお申し込み下さい。

同様の内容を記載した E メールでもお申込みいただけます。

☆詳細・お申込書に関しましては、以下のリンクをご参照下さい。

http://www.pref.yamanashi.jp/kougyo-gjt/documents/h28_reverseengineering.pdf

【お申込み・お問い合わせ】

山梨県工業技術センター

高度技術開発部 担当：萩原・米山

TEL:055-243-6111 FAX:055-243-6110

E Mail : kougyo-koudo@pref.yamanashi.lg.jp

(3) BCP (事業継続計画) 広域交流研修会のご案内

BCP (BusinessContinuityPlan : 事業継続計画) とは、企業が緊急事態に見舞われた際に、損害を最小限に止め、事業を迅速に復旧させるために、緊急時及び平常時に行うべき活動を取り決めておく計画のことです。

4 月の熊本地震では、東日本大震災の教訓を生かし、事業継続計画 (BCP) を策定していた

ため、損害を最小限に食い止めた事例も多く見られました。

<https://bcp-manual.com/bcp/kumamoto-earthquake-bcp/>

また、部品の調達先企業の生産がストップすることによりメーカーは大きな被害を受けるため、取引先に対して BCP の策定を求める事例もあります。

<https://bcp-manual.com/bcp/bcp-reason-4/>

このため、県では、韮崎市及び山梨 BCP/LCP 研究・普及プロジェクトと協働して、BCP 広域

交流研修会を次のとおり開催します。

県内で BCP を策定している食品製造企業による公開訓練の視察などを通じて、この機会に BCP の策定について考えてみませんか。

○日 時：平成 28 年 10 月 28 日（金）

○集合場所：山梨県韮崎市役所（韮崎市水神 1-3-1）

○参加費：1 人 3,000 円（資料、移動バス代等）

○申込方法：下記リンク先の申込書に必要事項をご記入のうえ、FAX にてお申し込み下さい。

☆詳細・申込書に関しましては、下記リンク先をご参照下さい。

<http://www.pref.yamanashi.jp/shouko-kik/documents/20161028bcp.pdf>

BCP 策定については以下のリンクをご覧ください。

<http://www.pref.yamanashi.jp/shouko-kik/documents/bcppanfu.pdf>

【お申込先】

山梨県 産業労働部 産業政策課 FAX:055-223-1534

【お問い合わせ先】

山梨 BCP/LCP 研究・普及プロジェクト事務局

特定非営利活動法人減災ネットやまなし

TEL・FAX:0551-23-5656

(4) 産業技術総合研究所技術セミナーの開催

～技術を新たな産業へ！～のご案内

国内最大級の公的研究機関である産業技術総合研究所の先端的な研究や技術シーズを活用して、県内企業の製品開発や技術革新等を促進するため、県では昨年度に引き続き同研究所と連携し、その技術シーズを県内企業の方々に分かりやすく解説するセミナーと個別相談会を開催します。

○主 催：国立研究開発法人産業技術総合研究所、山梨県

○日 時：平成 28 年 11 月 17 日（木）午後 1 時～5 時

○場 所：山梨県工業技術センター 高度技術開発棟 2 階

○参加費：無料

○参加者及び定員：県内企業関係者及び試験研究機関職員等 50 名程度

○主なプログラム：

1.特別講演「インダストリー4.0～つながるものづくり～」(30分)

2.産総研の概要と連携制度(20分)

3.産業技術総合研究所の技術説明(1～4の分野ごと、各20分程度)

(1)省エネ・環境重視型ものづくり技術(揮発性有機化合物を使わない塗装、耐熱・絶縁・ガスバリア性を持つ無機膜、マイクロリアクター等)

(2)強度+機能の材料技術(電気化学モジュール、センサ、磁性体、木材の射出成形等)

(3)部品加工・生産技術(精密加工、異材接合、表面処理、3Dものづくり等)

(4)計測技術(流量、漏れ、電磁ノイズ、三次元形状等の計測、構造物検査等)

※ 気になる分野のみの参加も可能です。

4.技術開発への県の支援メニューの紹介(20分)

5.個別相談会(1社15分程度、各分野の説明終了直後及びセミナー終了後)

○申込期限：平成 28 年 11 月 14 日（月）

☆申込方法等の詳細は下記URLのリンク先をご覧ください。

<http://www.pref.yamanashi.jp/shinjigyo/2015sansouken.html>

【お問い合わせ先】

山梨県新事業・経営革新支援課

TEL：055-223-1565



03： 大学トピックス (4件)



(1) 大村 智 特別荣誉博士胸像完成披露記念式典を举行

平成 28 年 10 月 5 日 (水)、甲府キャンパス大学会館において、「大村 智 特別荣誉博士胸像完成披露記念式典」を举行しました。この胸像は、大村博士の平成 27 年「ノーベル医学・生理学賞」受賞を讃え、そのご功績を末永く顕彰することを目的に、「山梨大学大村智記念基金」の一部を活用して制作しました。

式典では、島田眞路学長が、大村博士および胸像の制作者である石黒光二先生を紹介し、「大村先生からいただいた数々の「人をつくる言葉」を大切にし、大村先生に続く次世代の若者の人材育成に努めます」と決意を新たにしました。

大村博士からは、胸像制作に対するお礼の言葉が述べられ、「像はその人物より優れた風貌で造られるので、像に恥じない生活をしていきます」と挨拶がありました。また、来賓を代表し山梨中央銀行代表取締役頭取 進藤 中 氏から祝辞がありました。式典には、大村基金の高額寄附者や「山梨大学大村智記念基金奨学金」の奨学生等、約 100 人が参加しました。引き続き、附属図書館 1 階エントランスホールに会場を移し、胸像の除幕を行いました。司会の合図で幕が下されると、高さ 180 センチのブロンズ製の胸像が現れ、会場からは盛大な拍手が贈られました。

続いて、制作者の石黒先生から「大村先生の研究者としての厳しさと、優しく穏やかな人柄を表現できたと思います」と、大村博士から「私の恩師であるマックス・ティシュラー教授が在籍していた米ウエスレーヤン大学から、名誉理学博士号を授与されたときの出で立ちです」と胸像の説明がありました。

※胸像は、図書館の開館時間であれば、一般の方も自由に鑑賞できます。

開館時間は平日 9:00～17:00、土曜日 13:00～16:30 です。

臨時休館等、詳細な情報は附属図書館ホームページをご覧ください。

また、図書館 2 階では「大村 智先生 ノーベル医学・生理学賞受賞記念展」を常設展として開催中です。

(2) COC シンポジウム&中間報告会

「地域の活性化～ツーリズムによる取り組みから～」を開催

平成 28 年 9 月 29 日（木）、山梨県立図書館において、「地域の活性化～ツーリズムによる取り組みから～」をテーマに、山梨大学 COC シンポジウム&中間報告会を開催し、自治体や企業・団体の関係者、学生・教職員等約 100 名が参加しました。

島田眞路学長による開会挨拶の後、前九州国立博物館長の三輪嘉六氏より「九州国立博物館が果たした地域の活性化」と題してご講演いただきました。「学校より面白く、教科書よりわかり易い」を目標に、歴史的環境を活かした博物館づくり、博物館の多目的な活用、市民によるボランティア活動、入館者への配慮等など事例を交えての紹介があり、地域や市民と一体となった取り組み、博物館を通じた地域活性化の重要性を強調されました。

シンポジウムでは、大山 勲 生命環境学域教授より、ツーリズムを通じた人材育成、地域と学生の協働による活性化、今後の展望が述べられ、奥田 徹 教授よりワインツーリズム、菊地淑人 准教授よりアグリツーリズムを通じた学生の活動について報告がありました。

その後、中間報告会では、地方創生支援教育研究プロジェクト 12 件、COC 事業における教育プログラム、地域課題解決科目 3 件についてポスター発表が行われました。各担当教員らの説明を聞きながら参加者が熱心に質問するなど、有意義な報告会となりました。

(3) 甲斐市との連携事業で、産前・産後ケアを担う新たな産婦人科が開業

平成 28 年 9 月 24 日（土）、甲斐市内において、本学と甲斐市が連携し、産前から産後ケアまで対応できる「このはな産婦人科医院」の竣工披露式が行われました。

本学と甲斐市は包括的連携協定を締結しており、「甲斐市版ネウボラ推進プロジェクト」を通じて結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない子育て支援に取り組み、近年の県内産婦人科の減少問題等の解決を目指してきました。

今回開業した産婦人科医院では、甲斐市が医療施設機器を貸与し、本学医学部附属病院が女性医師を派遣します。

竣工披露式では、保坂 武 甲斐市長、島田眞路 学長、佐藤 弥 副附属病院長、平田修司 産婦人科教授、院長を務める中村朋子 産婦人科助教がそれぞれ挨拶し、開業までの経緯や今後の決意等を語りました。

「このはな産婦人科医院」は本年 10 月 3 日（月）開業しました。

所在地：甲斐市西八幡 1950-1（玉幡公園南 メディカルタウン内）

電話：055-225-5500

(4) 「セキュリティ・ミニキャンプ in やまなし 2016」を開催

平成 28 年 9 月 17 日（土）～18 日（日）、甲府キャンパスにおいて、本学及び特定非営利活動

法人山梨 ICT&コンタクト支援センター、セキュリティ・キャンプ実施協議会及び独立行政法人情報処理推進機構（IPA）との共催により、「セキュリティ・ミニキャンプ in やまなし 2016」を 2 日間開催しました。

これは、若年層のセキュリティ意識の啓発・向上と優秀なセキュリティ人材の発掘を目的に平成 16 年度より毎年開催されており、県内での開催は初めてです。

17 日（土）は「一般講座」として約 100 名が参加しました。主催者を代表して島田眞路学長による開会挨拶の後、情報セキュリティ啓発セミナー「侵入を防ぎようのない『標的型サイバーテロ』の恐怖とその対策」を開催し、4 名の講師による講演がありました。

18 日（日）は「専門講座」として、25 歳以下を対象に応募から選抜された 23 名が参加し、実際にコンピュータを使用した実習形式の演習を行い、講師陣が用意した課題に真剣に取り組むなど活発な講座となりました。



■ 04：山梨大学出展のお知らせ

山梨テクノ ICT メッセ 2016（11/9-11）に出展します！



県内最大級の“ものづくりと情報通信”の展示会であります「山梨テクノ ICT メッセ」が 11/9（木）-11（土）、アイメッセ山梨にて開催されます。

山梨大学は例年通り、甲府商工会議所様のブースの一部をお借りし、本学の研究や産学連携活動のポスター展示を主に出展する予定です。

[山梨テクノ ICT メッセ 2016 の開催]

- 会期 2016年11月10日(木)・11日(金)・12日(土)
10:00~17:00 ※12日(土)は16:00まで
- 会場 アイメッセ山梨(〒400-0055 山梨県甲府市大津町2192-8)
- 主催 一般社団法人 山梨県機械電子工業会
山梨県地域 ICT 推進協議会、公益財団法人 やまなし産業支援機構
- 協賛 山梨県 山梨県商工会議所連合会 山梨県商工会連合会 山梨県中小企業
団体中央会 一般社団法人 山梨県情報通信業協会 山梨青年工業会
- 後援 山梨放送 テレビ山梨 山梨日日新聞社 日刊工業新聞社
日本経済新聞社甲府支局

詳細については、HPをご覧ください。

<http://yamanashi-technoict.jp/overview>

-
- ■
- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
 - 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。
-